

No.616 (改題576号)  
2023年  
1月18日(水)合併号

# 新社会兵庫



## 週刊 新社会

発行所：新社会党  
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10 三辰工業ビル3F  
TEL. 03(6380)9960 FAX. 03(6380)9963

新社会党兵庫県本部 神戸市中央区中山手通5丁目2-3 ☎078(361)3613 FAX078(361)3614 毎月第2、第4水曜日発行 購読料月400円(1部200円)郵便振替:01120-7-16805

# 2023

## 大軍拡と増税で戦争国家に向かう岸田内閣打倒 統一自治体選に勝利し、命と暮らし優先の希望の政治へ



(右上から時計回りに)▼ロシアのウクライナ侵襲に抗議する市民デモHYOGOのデモ11月4日▼5・3兵庫憲法集会11月3日▼参院選比例区のおかざき彩子さんのたたかい11月7日▼安倍元首相の国葬反対の市民デモ前の集会11月8日(いずれも2022年、神戸市中央区)

## 持続可能な循環型社会の構築を

### 「市民自治が確立した自治体」づくりでその一翼を



新年のごあいさつ

新社会党兵庫県本部

委員長 あわはら 富夫

(神戸市会議員)

新年明けましておめでとうございます。

昨年、参議院選挙で兵庫県本部書記次長のおかざき彩子が社民党と市民共闘の候補として立候補し、新社会党が全国政党として一丸となって国政選挙を闘うことができました。結果は当選には至りませんが、社民党の政要件を確保することに貢献しました。また、おかざき彩子の訴えは、多くの「生きづらさを抱える人々」への共感と新社会党の若い担い手たちに勇気を与えることができました。新社会党の将来の飛躍に向けての大きな一歩となりました。ご支援をいただいた皆さんには厚く感謝を申し上げます。

また、ここ数年「気候危機」と「貧困・格差の拡大」が世界の課題になっています。いずれも現代社会の産物です。循環で成り立つ地球環境が人間の開発至上主義で壊れはじめ、地球自らがその浄化作用を私たちに課しているとも言えます。儲け至上主義、大量生産・大量消費、開発至上主義を改め、持続可能な循環型社会の構築が求められています。それは、「新しい資本主義」でなく、平和を基本に「競争でなく共同」「私有・独占でなく共有・分与」の新しい価値観の社会です。

また、今年4月は統一自治体選挙です。その社会づくりの一翼を「市民自治が確立した自治体」が担わなければならない。新社会党兵庫県本部は現職、新人併せ、これまでに8人の公認、推薦を決定しています。すでに、予定候補者たちは街頭宣伝や個々面接活動などに全力をあげています。

兵庫県でも維新が大量の候補者を擁立し、台風の目になっていますが、改選や軍拡をもくろむ勢力が自治体選挙で拡大することを絶対に許してはなりません。今回の統一自治体選挙は、将来の社会のあり方を決める重要な選挙です。新社会党兵庫県本部は公認、推薦候補全員の当選を目指して全力をあげます。ご支援をよろしく願います。

## 水脈

元巨恒例の新春ウォーク。夜明け前から3時間半は歩数計によると16・5km、2万3500歩。去年よりは疲れた、と感じるのは歳のせいかな▼さて、暮れの16日、政府は安保関連3文書を閣議決定した。安倍政権が強行した集団的自衛権の行使の容認など、この間進められてきた戦後防衛政策の大転換を政府の文書が追認した格好だ。理屈をいえば必然的に先制攻撃につながる国際法違反の「反撃能力」という名の敵基地攻撃力の保有、世界第3位の軍事国家に道を拓く防衛費GDP比2.2%化。われわれは必ずしも「専守防衛」論を是認するものではないが、自民党が憲法違反の言い訳にしてきた理屈も完全に取っ払った岸田政権は、もはや底が抜けたといえる。ただ、この大転換を前に抗議デモ一つないわが陣営も自己批判ものか▼12月23日、政府は総額114兆円超、防衛費は対前年当初予算比26・4%増の6兆8千億円の来年度予算の政府原案を決めたが、防衛費の財源について増税か、国債か、さまざまに議論がある中で、岸田首相は「財源がないからできない」との立場はとらない」と言い切った。この言葉、国民生活にとって切実な福祉・教育などの分野で言えば支持率は回復するの。

# 私の主張

# 2023年・年頭に思う

## 私の主張

### 「よく生きた」と言えるよう



川辺比呂子  
共同代表  
（アイ）女性会議兵庫県本部

古希も越え、今年は6ラウンド目の卯年を迎えた。この年になると大切な人を亡くすることも幾度とあり、命や人生について考えさせられることが多くなった。

去年は、この1年余りで2度の大手術を経て元氣になられた昔の職場の先輩と久しぶりにランチをした。職場のこともプライベートのこともよく話し、しんどさを分かち合ってきた先輩だ。その日も思い出について多くは語らなかったが、お互いの健康を称えあい、私たちの墓碑銘は「よく生きた」にしようと思いが一致した。私は墓を持つ予定はないのだけれど……。

世のほとんどの人は与えられた命をこのようにささやかに、でも一生懸命に生きていると思うが、最近の政治、社会は命をあまりにも軽んじていないか。

コロナ禍も4年目に入るが、政府の対応にはいつも呆れては怒りが湧く。昨年末の一時期はついに死亡率が世界1位になった。初期の頃、日本は衛生状態が良いから感染率も死亡率も低いと適当なことを言って奮闘している他国をバカにしていた政治家やそれを許してきた周りの者たちは今どう思っているのだろうか。日本政府の対応は一貫して科学的な知見を無視し、パンデミックすら自分たちの権力や利権のために利用してきた。そんな者たちも自分が感染したときにはすぐにPCR検査を受け、治療を受ける。その姿の浅ましき、凶々しさに呆れ果てる。コロナ禍対応で「命か、経済か」など

## 2023年・年頭に思う

財源の問題が取り沙汰された。1兆円増税にはやっと66%が反対と賛成を大きく上回ったが、敵基地攻撃能力の保有には56%が賛成しているという（「朝日新聞」12月調査）。敵基地攻撃能力って、賛成の人たちは何を考えているの？ 私がTwitterでフォローしている人が「リメンバー・パールハーバー」と呟いていた。私たち日本人としては、先制攻撃されたことを忘れないで、ではなく、華々しく先制攻撃をした後の苦しい状況を忘れてはいけないということだ。エネルギーも食糧も自給できない私たちが威勢のよいことを言っている戦争に入ったらどうなるのか、私たちは学んだではないか。自分の最期に「よく生きた」と言えるよう、この1年も小さな声でもあげ続けるしかないか。

## 川辺比呂子

## 今こそ賃上げを闘い取る春闘を



全港湾関西地方本部  
神戸支部委員長  
碓氷良介

昨年には沖縄返還から50年だったが、私が生まれたのが沖縄返還の年。そんな縁や、また自身が全港湾関西地方本部の青年部担当ということもあり、全港湾が毎年、青年部の取り組みとして行っている沖縄の平和行進に昨年初めて参加した。沖縄県民の民意をまったく無視して辺野古新基地建設のための埋め立てが続くことに怒りを感じるが、南西諸島に自衛隊基地がどんどん造られ、要塞化していることにも恐れを感じる。

そんな流れのなか、ロシアのウクライナ侵攻を悪用して、岸田政権は防衛費を大幅に増やし、増税で賄おうとしているが、先制攻撃につながるような

## 今、党青年委員会が面白い



新社会党兵庫県本部書記次長  
岡崎彩子

昨年夏の参議院選挙でのご支援に改めてお礼を申し上げます。

今、新社会党兵庫県本部の青年委員会がとても面白いです。この間の青年委員会での議論と交流で、政治活動をするなら選挙に出るのが当たり前」という機運が生まれ、青年が次々と立候補を決定しています。今春の統一自治体選挙に向けてすでに活動中のさかい大起さん（神戸市議選・須磨区）と要コウタさん（芦屋市議選）。昨年の参院選での私の挑戦。今後予定される自治体議員選挙でも、青年党員の立候補が確定しています。党をつないでいきたいとがんばってきた先輩のみさんとの奮闘と青年の決断が、時代の変わり目を作り出すような、またとないチャンスがきているように感じます。

青年委員会として、仲間を応援していきたい理由が大きく3つあります。

でもこうした政治に向き合い、政治的な課題での運動も強めることだと思う。もうひとつの大きな課題は、やはり賃上げだ。日本は世界の動きと違ってずっと賃上げは抑えられてきた。いま、これだけ物価がどんどん上がっても賃金は上がっていない。まさに賃上げは今年の春闘の最大の課題である。世界では物価値上げに対して賃上げのためのストライキも行われている。しかし、労働組合の組織率が17%を切る日本では社会全体として闘おうという気運がなかなか生まれてきていないが、いま必要なのは世界のような労働組合の闘いだと思う。官製春闘では話にならない

1つは、当事者性です。みんな立場はさまざまですが、社会に出る頃に経済成長も、安定した雇用や社会保障も、労働者の諸権利もすでに「ない」状況しか知らないことで共通しています。話をしても、氷河期の就職の苦勞や、社会に出ても数百万円単位で残る奨学金ローンや、最低賃金に満たない働き方の正社員の話がそれぞれ出てきます。辛酸を舐めたからこそ、他人の痛みが分かる。「自分が」だけではなく、なぜみんな厳しい状況なのか。分断を乗り越えて、誰もが一人の人間としてしっかり生きられる制度を勝ち取らないと社会は本当は変えられないという発想をしています。候補者の政策を見てもそれが表れていることが分かっていただけだと思います。

1つは、多様性です。メンバーは20代、40代。学生、民間サラリーマン、いし、それを打ち破っていかねばならない。全港湾の今年の賃上げ要求はこれまでの2万円から1万円アップの3万円。がんばって何とか実現したい。

当面は春闘の取り組みとあわせ、統一地方選にも取り組んでいくことになる。いまやバス関係が組織の多数を占めている全港湾神戸支部として、バスの交通政策に関する神戸市への申し入れや援助の要求など、市会議員の方々の支援は大いに必要だといへん大事なことです。そんなことのためにも、4月の神戸市議選では、これまでと同様、灘区の小林のみ子さん、中央区のあわはら富夫さん、垂水区の

高橋ひでのりさんを応援していくし、個人的にもあわはら選対の選対委員長として一緒に頑張っていきたいと思っています。

## 2023年・年頭に思う

福祉職場勤務、公務員、労組役員など立場もさまざま。かつて他党に所属していた、違う思想を持っていた、職場の先輩に誘われた、たまたま党の街宣に遭遇し党員に声をかけられたなど、経歴も入党のきっかけや経緯もさまざまです。違う意見の人と対話することの大切さを学び合っています。

1つは、この時代に仕事を投げうって選挙に挑戦すること自体が大変なことだからです。大きな組織ではないため、選挙活動を丸抱えしてくれる訳でも、その後の保障も約束もありません（そもそも、いい悪いは別にして、お金を払って学習や活動をするような党に来てくれたこと自体が奇様な存在）。「選挙の間、連れ合いに養ってもらえばいいじゃないか」という時代でもありません。同世代として応援しない理由はないのです。

私は参院選で全国を回る中で、訴えるべきことは訴えながらも、人と繋がることを何よりも大事にして活動する先輩方の本領を知りました。そんな活動や人がこれからも存在してほしいと強く思います。私も得たことを糧に、候補者の全員当選に向けて全力でがんばりたいと思います。

私



## 私の主張

新社会党兵庫県本部は、今年4月の統一自治体選挙で8人(1月1日現在)の公認・推薦候補者の全員の勝利をめざして全力を注ぎます。戦争

への道に反対するとともに、貧困と格差をなくし、平和・人権・環境を大切にする政治の実現をめざします。知人・友人の紹介などご支援下さい。

# 平和・人権・環境を大切にする政治へ

選挙日程:神戸市議員選挙=3月31日(金)告示、4月9日(日)投票 / 一般市議会議員選挙=4月16日(日)告示、4月23日(日)投票

<p>神戸市議選・垂水区 (定数9)</p>  <p><b>高橋ひでのり</b> (現・65歳)推薦 無所属</p> <p>1984年、京都大学経済学部卒業。神戸市に就職。生活保障や国民年金などの業務に従事。平和・脱原発・反差別の市民運動や精神障がい者の成年後見ボランティアに参加。ゴスペル歴14年。神戸市議1期。</p> <p>連絡先 〒655-0872 神戸市垂水区塩屋町3-6-29 電話 090-6602-8802 メール salishop@kobe.zaq.jp</p>	<p>神戸市議選・須磨区 (定数7)</p>  <p><b>さかい 大起</b> (現・33歳)推薦 無所属</p> <p>1989年神戸市生まれ。須磨学園高校、大阪教育大学卒業。働きながら行政書士と社会保険労務士の資格を取得。民間企業での人事制度改革や新卒採用業務など「一人」に関する業務に従事。趣味・アニメや特撮鑑賞。</p> <p>連絡先 〒654-0021 神戸市須磨区平田町1-2-4 電話 078-7968-6162 メール sakai-daiki@an.wakwak.com</p>	<p>神戸市議選・中央区 (定数6)</p>  <p><b>あわはら 富夫</b> (現・69歳)公認</p> <p>1953年石川県羽咋郡生まれ。神戸大学工学部システム工学科入学。神戸市議9期。一般議員団幹事長、新社会党兵庫県本部委員長、ろっこう医療生協東雲診療所運営委員会委員長。</p> <p>連絡先 〒650-0046 神戸中央区港島中町3-2-11 62-207 電話 078-302-0861 メール awaharatorinet.ne.jp</p>	<p>神戸市議選・灘区 (定数6)</p>  <p><b>小林 るみ子</b> (現・71歳)公認</p> <p>1951年大分市生まれ。大分大学教育学部卒。神戸市内の小学校教員として17年勤務。神戸市議5期。福祉環境常任委員会。ひょうご労働安全衛生センター理事、「安心と笑顔の社会保障ネットワーク」事務局長。</p> <p>連絡先 〒657-0831 神戸市灘区水道筋6-5-3-20 電話 078-882-0009 rummy_kobayashi@hotmail.com</p>
<p>明石市議選 (定数30)</p>  <p><b>よしだ 秀夫</b> (現・63歳)推薦 無所属</p> <p>1959年明石市魚住生まれ。神戸村野工業高校卒業。神戸製鋼所を経て明石市役所に勤務。明石市職労委員長、自治労本部執行委員。市会議員1期。趣味は三線演奏、少林寺拳法、ハイキングなど。</p> <p>連絡先 〒674-0084 明石市魚住町西岡1-11-3 電話 078-941-0660 メール hideo0118131@gmail.com</p>	<p>宝塚市議選 (定数26)</p>  <p><b>大島 淡紅子</b> (現・68歳)推薦 社民党</p> <p>1955年東京都葛飾区生まれ。関西学院大学社会学部卒。社民党公認。市会議員5期。副議長、決算委員会委員長など歴任。ガールスカウト県連盟第46団委員長、一致パラばらの会(教育懇談会)などで活動。</p> <p>連絡先 〒665-0817 宝塚市平井山荘6-15 電話 0797-89-4090 メール goiken1955@gmail.com</p>	<p>芦屋市議選 (定数21)</p>  <p><b>要 コウタ</b> (新・47歳)公認</p> <p>1975年生まれ。報徳学園高校卒業。関西保育福祉専門学校を経て西宮市立医療福祉センターで23年間勤務。保育士、幼稚園教諭免許取得。「真摯に丁寧」がモットー。芦屋の福祉を良くする会代表。</p> <p>連絡先 〒659-0024 芦屋市南宮町1-20-303 電話 070-8401-4024 メール observecare100@gmail.com</p>	<p>芦屋市議選 (定数21)</p>  <p><b>山口 みさえ</b> (現・60歳)公認</p> <p>1963年芦屋市生まれ。市立芦屋高校卒業。1989年、自治労芦屋留守家庭会指導員労組を結成、書記長として労働条件の改善に取り組み。芦屋市会議員5期。部落解放同盟芦屋支部副支部長、新社会党芦屋支部書記長。</p> <p>連絡先 〒659-0061 芦屋市上宮川町8-3-306 電話 0797-38-0273 メール misaehi.yohag@yahoo.co.jp</p>

## 平和と暮らし、民主主義の再生へ

### 新社会党の自治体政策

- ◆ **医療・介護**
  - ・国民保険料(税)の引き下げと国保サービスの充実。
  - ・70歳以上の医療費窓口負担は一律1割にも下す。
  - ・後期高齢者医療制度の廃止。2割負担、3割負担の拡大に反対。
  - ・特養待機者の解消、介護サービスの充実、ヤングケアラーなど家庭介護者への支援強化。
- ◆ **議会・自治体改革**
  - ・市民への情報提供の充実と公民館や図書館など社会教育施設の拡充。
  - ・非正規労働者の雇用の安定と正規並みの労働条件の確保。正規職員化の推進。
  - ・「公契約条例」の制定。
  - ・水道などライフラインの公営堅持、公営化の推進。
- ◆ **障がい者福祉・性の多様性**
  - ・性的マイノリティの差別禁止、パートナーシップ条例の制定。
  - ・「労福」や「農福」提携による障がい者の働く場(居場所)の確保。
- ◆ **暮らし・福祉**
  - ・生活扶助や住宅扶助などの削減に反対。生活保護の充実をはかる。
  - ・公営住宅の拡充や家賃補助の実施。
- ◆ **子ども・教育施策**
  - ・所得制限を設けない教育費や給食、医療費の無償化。
  - ・就学援助の基準引き上げなど、子どもの貧困対策の拡充。
  - ・保育所・学童保育所の確保や保育料の無料化推進。
  - ・30人学級の実現と教員の長時間労働の解消。
- ◆ **環境・エネルギー**
  - ・原発再稼働に反対し再生可能エネルギーへの転換を。
  - ・街路樹植樹、緑道や公園の整備、中小河川の自然回復。
- ◆ **防災・交通安全**
  - ・異常気象による災害多発に備え減災対策を進める。
  - ・歩道や自転車専用レーンの整備で安全確保。
  - ・コミュニティバスの拡充。

# 憲法理念を具現化したリアルな政策を

鈴木 渉(大阪労働学校・アソシエ講師)

## 統一自治体選に向けて

新しい年を迎えたものの、国内外の情勢は深刻化するばかりで、先行きの不透明、いや今より一層の危機が私たちに降りかかってくるのではないかと危惧する。

そういう中で4月に統一地方選挙が行われる。自公両党は岸田政権の支持率過去最低ライン横ばい、旧統一教会問題、閣僚の相次ぐ不祥事辞任などの内なる問題、ウクライナ戦争に絡み、エネルギー不安、物価高騰など外的問題で、進むも地獄、引くも地獄で相当な危機感を持っていると予測される。先月の茨城県議選では自民党公認候補が大量に落選した(保守系無所属が自民会派入りで現

われまいた。軍拡、力の政治を許容する空気が広がりはじめた今、教養子を戦場に送り続けた深い悔恨を持って戦後の人生を「たたかい」続けた人の言葉をかみしめます。

いつも手元に置いてきた詩集「種をまく人」を読み直しています。兵庫の地で同和教育や障害者運動に生涯かけて取り組まれた玉本先生の作品です。小選挙区制度の下、国会の議席を失って、新社会党のこれからをどうするか、どう闘えばいいのかを考えていた頃に、玉本先生から贈られた詩集です。先生は詩の一節通りに、「岡崎さん、たたかえば良いのだよ」と言

状態維持とは思われる)。一方、野党は各種世論調査でも反自民の受け皿になっていない。支持なし層ばかりが増える、こうした状況で統一地方選を迎えたらどうなるだろうか。低投票率になり、危機バネを發揮して与党が勝ってしまうのではと危惧する。

これらを払拭、打開するには「憲法理念を具現化したリアルな政策」を自治体住民に提示する必要があるのではないかと。従来の「憲法をいかに政治」のローガン型では抽象的であり、何を自治体政策において実現させ

たいのか明瞭ではない。自治体を国政における悪政の防波堤(反撃拠点)にしようとする声も聞かれるが、ほとんどの自治体が共産党を除く事実上の「オール与党」状態であり、自公と異域同担で「防波堤」や「反撃」といって、どれだけの人が野党に支持

説明するのだろう。先月の宮崎県知事選では自公と共に現職を推薦したものの、支持層の半数以上は前知事支持へ票が流れている。政党が自らの政策支持層の意向を反映させないとは一体どういうことなのか。このような姿勢で普段、支持して

民の側からすれば全く得手勝手な都合論に映る。立憲に限らず、「野党」を標榜する政党は野党とは何か、問い直す必要があると考える。

岸田政権は、大軍拡と大増税に道を拓く「安保3文書」を閣議決定した。安倍政権の「集団的自衛権行使容認」の閣議決定と同様、国民的議論もなく行政府だけでさっさと決めてしまう。新年度防衛予算は6兆8千億円超。その中で自衛艦・施設建設に史上初の建設国債4千億円余りを充当。さらに後年度負担(いわゆる複数年にわたるローン)は10兆円超。確実に防衛費を増大させていく予算上の仕組みが出来たとい

防衛力強化に肯定的世論はあるものの、いざこから負担するのだからという増税反対、増税までして軍拡する必要はないという声まである。政府は財源探しに血道をあげているが、今すべきはそこではないだろう。コロナ、物価高騰、ウクライナ問題でいよいよ市民に市民は苦しんでいる。それに政治はどう応えていくのだろうか。今、市民が最も知りたいことはこれではないか。市民に心を寄せた政治なくして民主主義の危機や政治不信の解消には繋がらない。このことを強調したい。(すずたわたる/憲法・政治学)



「なかまたちよ！共にたたかいましよう！」  
2023年、「たたかい」の年。  
新社会党中央執行委員長 岡崎 ひろみ

新年おめでとうござい  
ます。昨年は参議院選挙  
へのご支援・ご協力をい  
ただき、ありがとうございます。  
平和とは何か、無益な  
争いを避ける政治、人が  
人として認められ生きる  
ことができる社会はどの  
ようにしてくれるのが改  
めて問われる選挙結果と  
なりました。答えは、今

器が眼前に浮かんで  
きて 鳥肌が立つ  
「闘」うという文字  
も凶器を突きつけて  
奪い殺してきてきた  
狂人の影を焼きつけ  
今もそのままの姿を  
残したままではない  
か

そのままだしておい  
て 最近「戦い」  
でもない「闘い」で  
もない もうひと  
つの消してはならぬ  
「たたかい」の火か  
ら 目を逸らそう  
としてはいけないか  
たたかぬ政党

なかまたちよ！  
またも縦の道徳に  
従えと命令するもの

「たたかい」をわす  
れていないか  
「行動する」と置き  
かえてもよい

「たたかい」をわす  
れていないか  
「行動する」と置き  
かえてもよい

「たたかい」をわす  
れていないか  
「行動する」と置き  
かえてもよい

「たたかい」をわす  
れていないか  
「行動する」と置き  
かえてもよい

がいて 自主性を  
奪われた暗黒の社会  
に立ち向かおうとさ  
せないものは誰か  
われらの責任と協力を  
によって 明るく  
しようと「行動を遮  
るものは何ものなの  
か

(「つばき」から抜粋)

やさしさと生き抜くこ  
とと反差別的「たたかい」  
は、この詩集が出版され  
た20数年前よりもっと強  
く求められています。参  
議院選挙を通して聞いた  
「生きていくことが平和  
でないです」と生きづら  
さを訴える声は、性や雇  
用の形態や国籍や障がい  
の有無等々の理由で差別  
せず誰でも一人の人間と  
して生活できるようにな

改憲の動きをウォッチング

安保3文書 憲法の平  
和主義を覆す暴挙だ  
「戦争する国」を拒否す  
る 毗(まなじり)を決  
して23年を闘いぬこう  
敵基地攻撃能力の保有、  
原発推進——岸田政権  
は昨年、国の基本政策を  
次々と大転換させた。

岸田政権は、国会審議  
も、国民への説明もなく、  
戦後の安全保障政策を大  
転換する「安保関連3文  
書」の閣議決定を行った。  
「他国から武力攻撃を受  
けた時に初めて防衛力を  
行使する(専守防衛)と  
いう歴代政権の憲法解釈  
を180度転換し、敵基  
地攻撃能力の保有と大軍  
拡に踏み出した。

最後に提言は、平和の  
ために何をなすべきか、  
今後の課題をあげている。  
朝鮮半島の平和と非核  
化に向けた外交交渉を再  
開させる  
・元徴用工問題について  
過去の被害を踏まえた解  
決策を探る  
・中国への「敵視」政策  
を停止する  
・日中の首脳レベル相互  
訪問の早期再開に合意す  
る  
・日中間の安全保障対話  
を進める  
・攻撃的兵器の不保持  
の原則を明確化・厳格化  
する

さらにもう一つの大転換は「原発復帰」である。「原発依存度を低減する」「新増設や建て替えはしない」としてきた政府方針を転換した。

政府は、原発再稼働の加速、老朽原発の運転期間延長、そして新規原発建設、60年超の運転可能など新たな基本方針を決定した。

「安保関連3文書」の改定による戦争への道は断じて許されぬ。

憲法や国際政治の専門家でつくる「平和構想提言会議(共同座長・青井未帆学習院大教授ら)は、政府の「安保関連3文書」の対案となる「戦争ではなく平和の準備を

「軍事力中心主義や『抑止力』至上主義は、極めて短絡的で危険だ。抑止力は、武力による威嚇に限りなく近い概念。安保論議の中心に据えられてきた状況は憂慮すべきだ。市民と立憲野党の共闘をいっそう強め、「この抑止力の限界を認識し『抑止力神話』から脱却しなければならぬ」と連合」(中)

東京・杉並区長選

# 岸本聡子はなぜ勝った？

## 内田聖子さん講演要旨抄録①

昨年6月、東京・杉並区長選で岸本聡子さんが盤石と言われた現職を187票の僅差で破り勝利した。その選対本部長を務めた内田聖子さん（NPO法人アジア太平洋資料センター・共同代表）が12月4日、神戸市内で開かれた「女性会議ひょうご主催の『2022平和のつどい』」で「岸本聡子はなぜ勝った？」と題した講演を行った。講師と主催者の厚意による、講演要旨の抄録を2回にわたり掲載する。



内田聖子さん

### 勝利の背景に新自由主義的政策に対する不満や怒りと運動の蓄積

私は、アジア太平洋資料センター（PARC）というNGOで活動しているが、やってきたのは、経済のグローバル化、貧困と格差が国と国の間でももちろんのこと、一国内のなかでも広がっているなかで、環境の破壊、気候危機の問題、そして人権の問題に取り組んできた。

岸本聡子さんもこの20年間、ベルギーやオランダに居住を移して似たようなNGOで働いていて、20年ぐらいの親友。今回、いろいろな縁が重なり岸本さんが杉並区長選挙に出ることになった。



杉並区長に当選した岸本聡子さん

岸本さんは、選挙前から水道の民営化に反対する立場から、ヨーロッパでの公営に戻すという水

選戦の2か月をギュッと凝縮した映像があるのでもう一度見てほしい（「リアルサトコ」のWebサイトから視聴可能。YouTubeで2分19秒）。リアルサトコは、岸本聡子の政治活動を支え、自治と民主主義を地域から創るためのみんなの広場。いろいろな住民が草の根の住民運動の中から区長選挙に押し上げ、本場の作りの選挙活動だった。政党の支援をいただきながら、市民が前面に立つ形で、お金も、知名度も、利権もない、本当に作りの選挙戦だった。

「どうやって当選したの？ その秘訣は？」などど聞かれるが、これをやれば絶対に通るなんてものをやったわけではなく、これまでの住民の運動が土台にあった。強調しておきたいのが、岸本さんが突然に立候補して通ったということではないという点だ。

この20年間の区政を見ると、1999年に排外主義で改憲の急先鋒のよな山田区政が誕生し、住民運動もあってリベラ

な杉並区で排外主義的な区政が3期も続いた。住民はそれに反対し、区政を変えようという取り組みを当時から行ってきた。2010年には民主党政権誕生の流れの中で山田区長に代わって田中区長が当選したが、3期の

間にも進み、気候危機もある。そんな政策からむしろ脱却しなければならぬ時代になっている。プランが作られているというだけで今でも都市計画道路をつくるなど、が

関税を撤廃していくことで安いものがどんどん入ってきて、農林水産業は成り立たなくなるといことが世界的に進められてきた。日本もそれを採用してきた。

もうひとつは憲法改悪の流れで、歴史修正主義で悪化してきた。これは別の言い方をすれば、多様性を徹底的に否定することだ。杉並ではヘイトスピーチ、LGBTなど

## 自治と民主主義を地域から創る

間にも進み、気候危機もある。そんな政策からむしろ脱却しなければならぬ時代になっている。プランが作られているというだけで今でも都市計画道路をつくるなど、が

関税を撤廃していくことで安いものがどんどん入ってきて、農林水産業は成り立たなくなるといことが世界的に進められてきた。日本もそれを採用してきた。

もうひとつは憲法改悪の流れで、歴史修正主義で悪化してきた。これは別の言い方をすれば、多様性を徹底的に否定することだ。杉並ではヘイトスピーチ、LGBTなど

間にも進み、気候危機もある。そんな政策からむしろ脱却しなければならぬ時代になっている。プランが作られているというだけで今でも都市計画道路をつくるなど、が

関税を撤廃していくことで安いものがどんどん入ってきて、農林水産業は成り立たなくなるといことが世界的に進められてきた。日本もそれを採用してきた。

もうひとつは憲法改悪の流れで、歴史修正主義で悪化してきた。これは別の言い方をすれば、多様性を徹底的に否定することだ。杉並ではヘイトスピーチ、LGBTなど

間にも進み、気候危機もある。そんな政策からむしろ脱却しなければならぬ時代になっている。プランが作られているというだけで今でも都市計画道路をつくるなど、が

間にも進み、気候危機もある。そんな政策からむしろ脱却しなければならぬ時代になっている。プランが作られているというだけで今でも都市計画道路をつくるなど、が

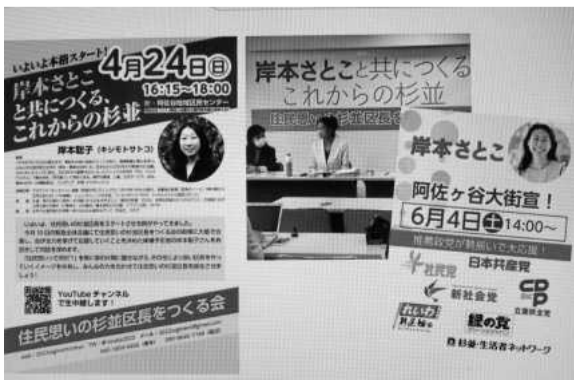
関税を撤廃していくことで安いものがどんどん入ってきて、農林水産業は成り立たなくなるといことが世界的に進められてきた。日本もそれを採用してきた。

もうひとつは憲法改悪の流れで、歴史修正主義で悪化してきた。これは別の言い方をすれば、多様性を徹底的に否定することだ。杉並ではヘイトスピーチ、LGBTなど

間にも進み、気候危機もある。そんな政策からむしろ脱却しなければならぬ時代になっている。プランが作られているというだけで今でも都市計画道路をつくるなど、が

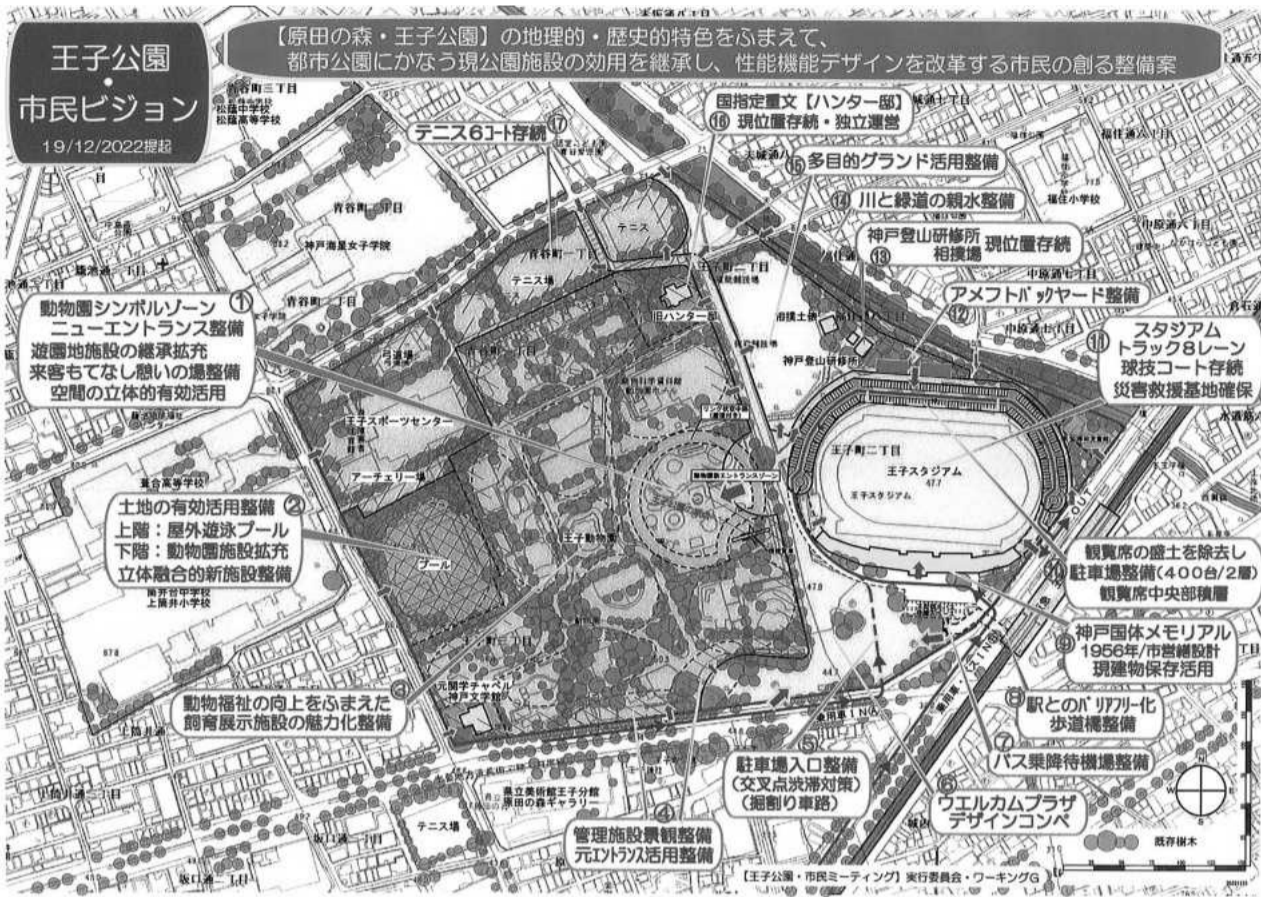
関税を撤廃していくことで安いものがどんどん入ってきて、農林水産業は成り立たなくなるといことが世界的に進められてきた。日本もそれを採用してきた。

もうひとつは憲法改悪の流れで、歴史修正主義で悪化してきた。これは別の言い方をすれば、多様性を徹底的に否定することだ。杉並ではヘイトスピーチ、LGBTなど



多くの市民の手作りの選挙闘争となった岸本選挙。7つの政党・地域政党も支援した（講演のパワーポイントより）

### 王子公園・市民ミーティング実行委が発表した『王子公園・市民ビジョン』



### 王子公園再整備計画

## 市民が対案を策定

## 「王子公園・市民ビジョン」発表

### 神戸市は100億円で用地売却を発表

王子公園（神戸市灘区）の再整備計画をめぐり、昨年12月の神戸市の再整備基本方針（素案）の唐突な発表以来、「王子公園の未来はみんなが決める」を合言葉に、素案の白紙撤回を求める署名を集め、また、市民が意見をだし合う「王子公園・市民ミーティング」の開催を5回にわたって重ねてきた「王子公園・市民ミーティング実行委員会」（事務局・こうべ保健サービス）。

昨年12月11日、同実行委員会が動物園ホールで開いた市民ミーティング・グ・パート5（市民の創る王子公園ビジョン発表会&シンポジウム）で、これまでの市民の意見を踏まえ、一級建築士ら専門家の協力も得ながら策定した略称『王子公園・市民ビジョン』（案）

を発表した。発表された『王子公園・市民ビジョン』の基本方針の骨子は以下のようなものだ。

第1に、市の再整備基本方針に対しては、①都市公園法の基準に基づいた市民ミーティングの開催を促すこと、②王子公園指定地の現エリアを減少させない整備、③同地区の歴史的履歴や地理的特色を損なわない整備を主張。

第2に、王子公園の効用を全うするための公園施設（運動施設、教養施設、遊戯施設、修景施設）は、現在の施設位置で果される現機能の保全や性能の改善を旨とし、「管理・便益・休養」の諸施設は景観デザイン化を旨とする整備とする。

第3に、公園来園者（家族連れ・学校行事・観光客等）の交通手段の利便性を向上させる整備。

第4に、王子公園の諸施設ごとの整備策として、17項目を挙げ（左上図参照）、第5に、王子公園のあり方検討会（仮称）を設置し、市民の参画・協働にもとづく計画策定とする、である。



市民の手で作った『王子公園・市民ビジョン』を発表する「王子公園・市民ミーティング実行委員会」＝2022年12月19日、神戸市役所

【5面からのつづき】  
ことだ。確かにそれは実感できるところがあって、杉並は都心に近いところで、企業の社長とかハイクラスな人たちの豪邸もある一方、若い人たちも子育て世代の人もいて、格差がどんどん広がって。政治的に強いのは保守系で、必ずしもリベラルが強いというわけではない。関西だと維新に流れる層かもしれないが、東京の場合は、そういう人たちは自民に流れていく。選挙に行かない人はどっちでもいいという感じだが、地域ではいろいろなことが政治に関係しているんだということを訴えてきた。

岸本さんが立候補を決めたのは3月も終わりの頃。それまで何人かの人についていろいろ打診してお話をしていたが、タイミンクや条件が合わなくてうまくいかなかった。私自身はその時、区長選にはそこまでコアに関わってはいなかったが、岸本さんとはずっと仲良くしてきていてコロナの中でもリモートでよく話をしていた、来年くらいには日本に帰ろうという計画があったのを知っていた。20年間ヨーロッパで働いてきて、そろそろ日本の民主主義にとって役に立つ仕事をしたいと思いはじめた。だって、あなた、出た方がいいよ」と、そんな会話から始まった、それが3月の初め。彼女には大胆な敵なところがあった、それもいいかもしれない。いくつかの主要な方々と大急ぎで話をし、たまたま彼女が別の用件で日本に帰って来たことがあった時、絶対に一緒にがんばろうと、みんなで説得をした。彼女にとっては大きな選択だった。まだベルギーに住んでいて、日本に帰ろうとは思ってはいなかったが、さすがにか、選挙のためにとかは考えていなかった。そんな彼女の背中を最後に押したのが、3月の会の発足集会だ。住民がそれぞれに自分の課題を次々と語っている映像を見て、それが彼女の心を動かした決め手になったと言った。4月に日本に帰ってきてキックオフ集会をやったが、選挙まで2か月を切っていた。時間の制約はどうしようもない中で、ポスターをつくり、政策をつくり、いろんなことをやった。ありがたかったのは、7つの政党・地域政党が推薦してくれたことだ。

【次号につづき】

久元神戸市長はその翌日の20日、大学誘致に関する公募要項を発表。大学誘致のための用地を100億円で売却することも明らかになり、21日から公募を開始した。市の計画では6月頃には大学優先交渉権者を決定するとしている。

この再整備方針は2月13日から2月議会で審議されるが、同実行委員会は当面、次のような行動などを予定している。

①『王子公園・市民ビジョン』のチラシ1万枚を作成し、会のホームページでの紹介とあわせて広く市民に知らせる。

②市議員に公開質問状を送付し、公開する。

また、有志によるスタンディングも続ける。

要項目は、①広範な市民の危惧や疑問、批判の声にもかかわらず、情報公開も不十分なまま「再整備方針」を押し通り、大学公募に踏み切る拙速な政策執行をいったん凍結すること、②市民の意見やアイデアをくみ入れて策定した同会の『王子公園・市民ビジョン』を受け入れ、検討すること、③市民参画の場として「王子公園のあり方検討会（仮称）」を設置することの3点で、12月26日までに文書回答をすることを求めた。

だが、これもあつち

### ひょうご 136

## 描き、歩き

山歩きのグループで六甲山系のいろんな山をいろいろなルートで楽しんでいて、六甲山歩きの魅力は神戸市街地と大阪湾が見張らせるスポットが随所にあることで、眼下に広がる神戸の街並みを眺めると一気疲れが吹き飛び、爽快な気分になる。

摩耶山の展望台からの眺めが随一だが、市街のすぐ傍の小高い丘の上にある諏訪山公園からの眺めも佳い。眼下に神戸の街並みが広がり、海の向こうに大阪の街がくすむ。

この諏訪山の中腹に金星台がある。明治7年、金星が太陽面を通過するという105年ぶりの天体ショーが観られることで科学先進国の天文学者たち

## 諏訪山公園

(神戸市中央区)

がその観測のために日本にもやってきて横濱、長崎、神戸で観測した。フランス隊がここで観測したことで金星台と呼ばれるようになった。

また、この公園の一角には敗戦直後まで「諏訪山動物園」があったそう。昭和初期に開園し、約20年間市民に親しまれたが閉園となり、飼われていた動物たちは開園したばかりの王子動物園にトラックで引き取られていったが、象の諏訪子と摩耶子は大きすぎて乗れないため晴れ着姿で歩いて行ったという。今、この王子動物園のある王子公園が再整備計画の名の下で切り売りされようとしている。

(嶋谷)



# 「女性の貧困」の問題提起に学ぶ

## 新社会党が全国女性党員・党友交流会

新社会党の第21回全国女性党員・党友交流会が昨年12月18日、東京の会場をキーステーションにオンラインで全国のサテライト会場と個人参加を結んで開かれた。

午前中は、参院選を候補者としてたたかった岡崎彩子さんから選挙闘争を通じてつかなだ成果や教訓などの報告と全国各

地からの報告があり、兵庫のサテライト会場からも県本部女性委員会の岡崎選挙への関わりや尼崎市長選挙での勝手連の取り組みの報告を行った。

午後は、大谷恭子弁護士から「女性の貧困」というテーマで、若い女性の深刻な状況と居場所づくりについての問題提起を受けた。



東京の会場と全国のサテライト会場をオンラインで結んで開かれた第21回全国女性党員・党友交流会＝2022年12月18日、東京

女性のシェルターという保護のための施設があっても、そこに保護された女性は2度と保護を訴えたりしない。政府や行政担当者には人権感覚がなく、自由もないからだという。せつかく要求してきた女性のためのシェルターが役に立ってない実情が明らかになった。

大谷さんは瀬戸内寂聴さんと「若草プロジェクト」を立ち上げ、性被害にさらされている少女たちのシェルターと居場所をつくる取り組みを進めている。「ライン相談」や「まちなか保健室」、「つながる」(必要なものを必要の人に)、企業連携(応援団の応援)など具体的な取り組みだ。

大谷さんから明らかにされる女性の実態や思いなどから、日本の女性差別はどれほど深刻か、「風

俗」と呼ばれる女性を取り込むシステムはどんなにすさまじいものか、家庭や学校、地域で孤立する女性たちがどれほど孤立しているかなどが浮き彫りにされ、「偏見」(女性差別)「虐待」(性暴力)の仕組みが放置されていることに改めて怒りを覚えた。

公的支援が女性の人権を守るという仕組みに変えられることの必要性などが強調された。(小城)

# 「あなたは働く者の希望だった」 小西純一郎さんをしのぶ会

昨年9月19日、肺がんのため69歳で急逝した小西純一郎さん(武庫川ユ



ユニオン運動のリーダーとして活躍した小西純一郎さんの足跡を示すように全国から230人が参列したしのぶ会＝2022年12月17日、尼崎市

ニオン書記長、ひょうごユニオン事務局長など)を偲ぶ会が12月18日、尼崎市中小企業センターで開かれた。

地区労働運動や地域ユニオン運動のリーダーとして活躍してきた小西さんの足跡の大きさを物語るように全国各地から230人が集まり、小西さんとの別れを惜しんだ。

二胡の演奏で始まった会では黙とうののち、呼びかけ人を代表して酒井浩二・尼崎地区労働局長があいさつ。「余人をもって代えがたい唯一無二人を失った。あなたは働く者の希望だった。私たちが闘い続ける限りひとりひとりの心の中に生き続ける」などと述べ、「私たちの闘い続ける決意をお

なたに届けて追悼の言葉としたい」と結んだ。

その後、各界から、闘いには厳しく立ち向かい、しかし人には心底優しくした小西さんの人柄をそれぞれに称えるスピーチが続いた。その間には、小西さんの足跡を画像と映像でまとめたDVDを

観たり、小西さんが生前愛用した三線を使った演奏で「涙そうそう」を歌う時間もあった。

最後は、韓国の労働歌に小西さんが日本語の歌詞をつけ、ひょうごのユニオン運動の中で親しまれた「鉄の労働者」をみんなで合唱して閉会した。

**ストップ大軍拡!**  
市民集会&デモ in HYOGO

●2月23日(木・祝)  
集会14時～16時/デモ16時～17時  
●神戸市立婦人会館・4Fさくら(JR神戸駅・北へ5分)  
●講演「市民の論議と国家の論議と防衛政策の転換をめぐって」  
山本昭宏さん(神戸外大准教授)  
●宮古島からオンライン報告  
(参加費5000円)

# 地域ユニオン あちこちあれこれ

昨秋から新聞紙上では「介護保険料の値上げ」「医療保険料の値上げ」「年金の支給年齢繰り上

げ」等が連日の如く報道されていて、「老人イジメはやめてよ」の思いだ。

熟年者ユニオンでは今年度の運動課題として、介護保険制度の見直しと改悪反対を掲げた運動を行う確認をしている。介護保険制度は2000年から始まって、当初保険料の基準額2911円が、3年毎の値上げで20年度は6771円になっている。保険金の徴収が第1

## 介護保険制度改悪反対の運動を

(40歳から64歳)はそれぞれ健康保険等から同時徴収されている。

今年度の年費状の一枚に、「私が勤務する法人が介護業界トップに企業買収

され、現場の混乱ぶりを目の当たりにしています」とあった。同様のことが昨年、たるみユニオンの組合員が働いていた介護現場で。さらに介護現場

ることにより介護用品(車椅子やベッド、および消耗品等)の一括購入で購入価格の切り下げができる。さらに介護現場

の分業も進められる。厚労省の生産性向上推進事業(2019年予算)では具体的に①職員配置の見直し②業務プロセスの構築(マニュアル化)

③介護ロボットの活用④ICT化を挙げている。この事業を民間企業に委託して、介護事業者に推進している①④の事業が小規模企業より大企業の方が実施しやすく、投資メリットが出しやすいということであろう。生産性向上とは何が生産品(商品)なのか? 介護利用者は人間であり断じて商品扱いされてはならない。また、介護現場の

労働者は作業内容が細分化され、画一化され、労働強化が行われる。今年の初めに介護保険制度の一端を見た思いである。介護保険の問題は広範囲におよび、先述の如く40歳以上の第2号被保険者および介護労働者と共に連帯した運動が求められる。

菅沼祥三(熟年者ユニオン)

# 今年もよろしくお願ひします。

旧年中はお世話になりました。大国による水産加工品の買い占めによって、庶民の手には届かぬ商品になってきたのがカニやホタテ。年末にはホタテの扱い断念の事態になり、皆様にはご迷惑をおかけしました。すべての商品が値上がりし、生産者にとっても肥料や燃料、包装や輸送費の高騰により、小規模であるほど厳しい状況です。消費税インボイス制度開始など弊社にとっても厳しい経営状況が続きますが、皆様にお支えいただき、新たな商品発掘など努力してまいりますので、今年もご愛顧のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

毎月お届けしています

**でかんしよ米** (小多田屋米穀店)  
10キロ 5,300円 / 5キロ 2,650円 / 3キロ 1,590円

**ささや米** (耕しや/阪東農園)  
10キロ 5,100円 / 5キロ 2,550円  
(玄米10キロ 4,800円 / 5キロ 2,400円)

謹賀新年



2023年 (有) ぴいぶる 担当一同

(有) ぴいぶる  
電話/ファックス078(531)0135



# おんなの目

去年、ボラ  
ンティアとし  
て参加してい  
る『中国残留  
日本人孤児を  
支援する会の  
10周年記念  
誌』（本紙  
前々号12月14日号の  
「本棚」欄で紹介）が完  
成し、私はその編集過程  
に一員として加わった。  
アイ女性会議ひょうごの  
機関誌「ウーマンスカレ  
ント」を3カ月に1度発  
行するお手伝いをしてい  
る関係から、他人の文章  
を直したり、手を入れた  
りすることは慣れてい  
るつもりだったが、10周  
年誌はさまざまな点で違  
っていてその苦労はけた  
違いだった。

「構想をまとめて取り掛  
かったのが2019年。  
私たちは残留孤児の人た  
ちと毎週のように出会っ  
ているが、この出身な  
のか、家族関係はどうな  
のか、何が一番困ってい  
るのかなど何も知らない  
ままだった。実際の姿を  
まず掴むためにアンケー  
トをどうと、神戸大学  
の浅野慎一教授のもとを  
訪ね、この問題の核心に  
ついて教えてもらった。

そしてアンケート項目だ  
けではどうしても足りない  
個人の思いも聞きたい  
と思った。しかし、残留  
孤児の人から「文章」を  
集めることは実に難しい。  
中国語でもいいと言って  
書いてもらおうとしたが  
ほとんどの人は戻込みし  
がちである。連絡を取り、  
了解をもらって家まで押

しかけ、ようやく話を聞  
かせてもらった。  
次に関係者やスタッフ  
の「作文」も集めたが、  
これがなかなか揃わない。  
あの人もこの人も過去の  
人も、とぬかりないように  
当たっていくうちに、  
時間がどんどん過ぎて行  
く。ようやく原稿が揃い  
かけて、校正にかかった  
が、これがすべてメール

## 『10周年記念誌』作成秘話

この言い方はわかりにく  
い、こはこういふう  
に交えるべきではないか  
など1か所の変更につい  
ても、いろいろ意見が出  
て数日間を要する。本人  
の了承も得なくてはなら  
ない。  
どうい順番に載せる  
か、中国名がある帰国者  
さんの名前はどう読むの  
か、日本語読みか中国語  
読みか、五十音順にする  
ためには全員の正確な読  
み方がわからなければな  
らない。毎週教室に来て  
いる人なら聞くことができ  
るが、来ない人には電  
話をかけるが通じない  
（知らない人からの電話  
には出ない人が多い）。  
仕方なく往復はがきで読  
み方を尋ねるが返信はな  
い。1人でも分からない  
と並べられない。目次が  
出来上がらない。  
だんだん投稿する締め  
切りが近づき、みんな焦  
ってくる。〇ページの  
「そして」は「そこで」  
の方がいいのではないか  
〇ページはここで改行し  
た方が分かりやすい、〇  
行目の数字が半角になっ  
ていない、亡くなった人  
の名前に〇〇さんが抜け  
ている、等々。  
しまいに夜中の2時  
に送られたメールに早朝  
の5時に返信という具合  
だった。おかげで、ほぼ  
すべてのページに目行  
き届いたと目負している。  
出来上がった冊子を胸  
に抱いて、撫でて過  
した正月であった。  
(門永三枝子)

### 『人生読本 落語版』

矢野誠一著／岩波新書／(中古本)

本書は「私にとって、落語は人生の教師役  
寄席が最高の教室だった」と述懐する著者が、  
生きるこの意味を笑いの中に炙り出すエッ  
セイだ。  
30のテーマごと、80に及ぶ落語の演題を展  
開しながらの筆致に、落語ファンでない人も  
落語に興味を持ち、一度、寄席に足を運んで  
みたくなるにちがいない。  
昨今、スマホ全盛の時代状況だが、それが  
無い、不便で貧しくはあっても、こころ豊か  
だった落語の世界に没り、これまで歩んでき  
た人生を振り返る上でその素材となる書だ。

本書は、落語家のエピソードなども紹介す  
るが、これがまた面白いのだ。  
「吝嗇」の項では、半世紀ほど前に鬼籍に  
入った九代目桂文治の人柄を紹介。「サザエ

ん」に登場する落語家のモデルと言われた人  
だ。仕事帰りに仲間と一杯やるときも、安  
く美味しい店に限られて、五代目柳家小さん  
が壁の品書を見て、「俺、枝豆」とつぶやくと  
「枝豆なら昨日茹でたのが家にたくさんある  
から、弟子に自転車で運ばせる」と言ってる  
けたぞうだ。また、趣味が蓄財だったから、

高額の預金者ということ銀行に行くとき必接室  
に通され、備え付けのマッチ、ティッシュペ  
ーパー、メモ用紙類などを弟子に命じて風呂  
敷に山のように包ませたという。儉約家では  
あったが、出さなくては出さなくては、決して  
守銭奴ではなかった。共同募金などは10万円、  
20万円と寄付をしたとのこと。懐よりも心の  
うちが豊かな人だった。



「読み書き算盤」の項では、わずかに桁の  
計算でひとの頭を混乱させる術が紹介される。  
『いまでもらった一荷入りの水がめ、下に取  
るのだ。  
「買もの上手の源さんが、水がめ屋で2  
円50銭の一荷入りの水がめを2円に値切って  
買う。そいつをかついで一度店を出て、戻っ  
てくると、「一荷入りでなく二荷入りが欲しい  
と言つ。二荷入りは5円なのを4円に値切る。  
ここから源さんの珍妙なる高等数学が展開す  
るのだ。  
『いまでもらった一荷入りの水がめ、下に取  
るのだ。  
「買もの上手の源さんが、水がめ屋で2  
円50銭の一荷入りの水がめを2円に値切って  
買う。そいつをかついで一度店を出て、戻っ  
てくると、「一荷入りでなく二荷入りが欲しい  
と言つ。二荷入りは5円なのを4円に値切る。  
ここから源さんの珍妙なる高等数学が展開す  
るのだ。」

## 「落語は人生の教師役だった」

『いまでもらった一荷入りの水がめ、下に取  
るのだ。  
「買もの上手の源さんが、水がめ屋で2  
円50銭の一荷入りの水がめを2円に値切って  
買う。そいつをかついで一度店を出て、戻っ  
てくると、「一荷入りでなく二荷入りが欲しい  
と言つ。二荷入りは5円なのを4円に値切る。  
ここから源さんの珍妙なる高等数学が展開す  
るのだ。」

本書は、愚かしくも愛すべき人間像、機知  
に富む会話など、社会の諸相や人生の面白さ  
を落語を通じて学ぶのに最適な教科書と言え  
る。最近、落語を映像化した番組が放映され  
ているが、人々との絆が希薄になってきて  
いるなか、人間性を取り戻す上で面白い番組  
だ。  
ところで、昨年末、政府のデジタル臨時行  
政調査会(デジタル臨調)は、人が目視で確  
認したりすることが法律などで義務付けられ  
ている約1万条の規制を見直す工程表をま  
とめた。いわゆる「アナログ規制」だ。人間  
をドローンやロボットに置き換え、センサー  
やAIで解析していく方向で、対面講習など  
は規制されることになる。人と人との絆がさ  
らに分断される社会が到来するのは必至だ。  
話はそれるが、なぜ国民的映画の『男はつ  
らいよ』(ある意味、落語の世界)が今なお人  
気があるのかを考えた時、人と人との向き合  
って語り合う風景が、今、本当に求められて  
いるからではないだろうか。  
(音屋喜客)

## ケイコ 目を澄ませて

見終わってしばらくし  
てから、じわっと心に広  
がる映画だった。  
「そして」は「そこで」  
の方がいいのではないか  
〇ページはここで改行し  
た方が分かりやすい、〇  
行目の数字が半角になっ  
ていない、亡くなった人  
の名前に〇〇さんが抜け  
ている、等々。

耳の聞こえない主人公  
の元プロボクサー小笠原  
恵子さんの著書『負けな  
いで』から着想を得て、  
三宅唱監督が映画化した  
作品である。全編が16ミ  
リフィルムで撮影された  
映像で、劇中や最後のク

レジットにもほとんど音  
楽が使われていない「静  
かな」映画だった。  
この映画には音楽がな  
いと書いたが、その代わ  
りをしてるのが、さま  
ざまな音である。電車の  
音、遠くの工事現場の音  
、遠くの工事現場の音  
、遠くの工事現場の音  
、遠くの工事現場の音



この映画は闘うシーンで  
見る者に訴えることを極  
力避けているように思う。  
それよりも、ホテルの清  
掃員として働きながらボ  
クシングを続けるケイコ  
の日常に焦点を当て、さ  
まざまな感情に揺り動か  
されるながら成長してい  
く彼女の姿をカメラは追っ  
ていく。  
この映画には音楽がな  
いと書いたが、その代わ  
りをしてるのが、さま  
ざまな音である。電車の  
音、遠くの工事現場の音  
、遠くの工事現場の音  
、遠くの工事現場の音  
、遠くの工事現場の音

この音は、ケイコには聞  
こえていないのだ。  
監督が音にこだわった  
と思われるシーンが他に  
もある。広い窓際の明る  
い席で、ケイコと2人の  
友だちが会話をしている。  
この音は、ケイコには聞  
こえていないのだ。  
監督が音にこだわった  
と思われるシーンが他に  
もある。広い窓際の明る  
い席で、ケイコと2人の  
友だちが会話をしている。

## 聴覚障碍のプロボクサーの闘う姿描く

3人とも手話で話してい  
るが、それまでに出てい  
た字幕がない。彼女たち  
の表情から楽しい話をし  
ていることは想像できる  
が、その内容は周りの者  
にはわからない。それは、  
聴覚障碍者が普段の生活  
で経験していることの裏  
返しであるというところだ  
はっと気づかされる。  
ケイコは、小さい頃に  
いじめに遭ったり、思春  
期に荒れたらした経験を  
持っている。成長の過程  
で、他者とのコミュニケーション  
の難しさを痛  
いと感じた。だからこ  
そ、1人の相手に向かってた  
だ殴るだけで自分を表現  
できるボクシングが、彼  
女にとって貴重な存在だ  
ったのかも知れない。映

## シネマランド

監督 三宅唱/2022  
年/日本/99分